

第2回草津市都市計画審議会協議会 会議録

■日時：

令和2年11月16日（月）10時00分～10時45分

■場所：

草津市役所4階 行政委員会室

■出席委員：

塚口委員、北村委員、中本委員、山本委員、山元委員、伊吹委員、中島委員、粟津委員、
太田委員（代理：杉江）、村川委員、倉田委員、酒井委員

■欠席委員：

田中委員、宮本委員

■事務局：

都市計画部 松尾部長、一浦総括副部長

都市計画課 松浦課長、竹中課長補佐、中野係長、糸井主任

■傍聴者：

0名

1. 開会

●開会にあたって、松尾部長より挨拶

●事務局

草津市都市計画審議会条例第7条第2項の規定に基づき、委員の半数以上の出席という要件を満たしており審議会が成立していることを報告。

委嘱替があった委員の紹介。

2. 協議

(1) 大津湖南都市計画下物町地区計画（案）の策定について

●事務局

<資料1、資料2について説明>

●委員

商業施設周辺の調整区域において、人口増加が起こる可能性についてはいかがお考えか。

●事務局

50戸連たんという制度で人口増加が図られる可能性はあるが、今回の地区計画自体は住宅開発に対して特別な措置をするものではないため、大きな影響はないものとする。

●委員

この計画自体はどこから持ち上がったものなのか。

●事務局

常盤学区では、生活利便施設の誘導に向けて協議を重ねられ、その中から今回の案件も出てきている。

●委員

現況地は現在、どのような状態なのか。

●事務局

工場跡地であることから、既に造成済みである。

●委員

下物地区などは草津駅周辺から遠く、人口も少ないので、このような事業は進めていった方がよいと思う。

(2) 大津湖南都市計画東海道草津宿本陣地区計画（案）の策定について

●事務局

<資料3、資料4について説明>

●委員

東海道草津宿本陣地区計画は現在どのような状況なのか。

●事務局

高層建築物が本陣近辺に近づいてくるように建築され始めているため、今回地区計画を策定することにより、これ以上の景観の崩れを防いでいきたいと考えている。

●委員

まちづくりにおいて住民の協力が必要ということはわかるが、行政として史跡をどうしていくのかについて考える必要がある。

3. 閉会

●閉会にあたって、一浦総括副部長より挨拶

以上